

2020年4月15日

「2020年1～3月期業況アンケート調査」結果  
(2020年4月調査)

新型コロナウイルスの感染拡大で、景況感は  
東日本大震災以来の水準まで悪化

照会先 一般財団法人 長野経済研究所  
調査部（担当：桑井、中村）  
電話 026-224-0501



# 新型コロナウイルスの感染拡大で、景況感は東日本大震災以来の水準まで悪化

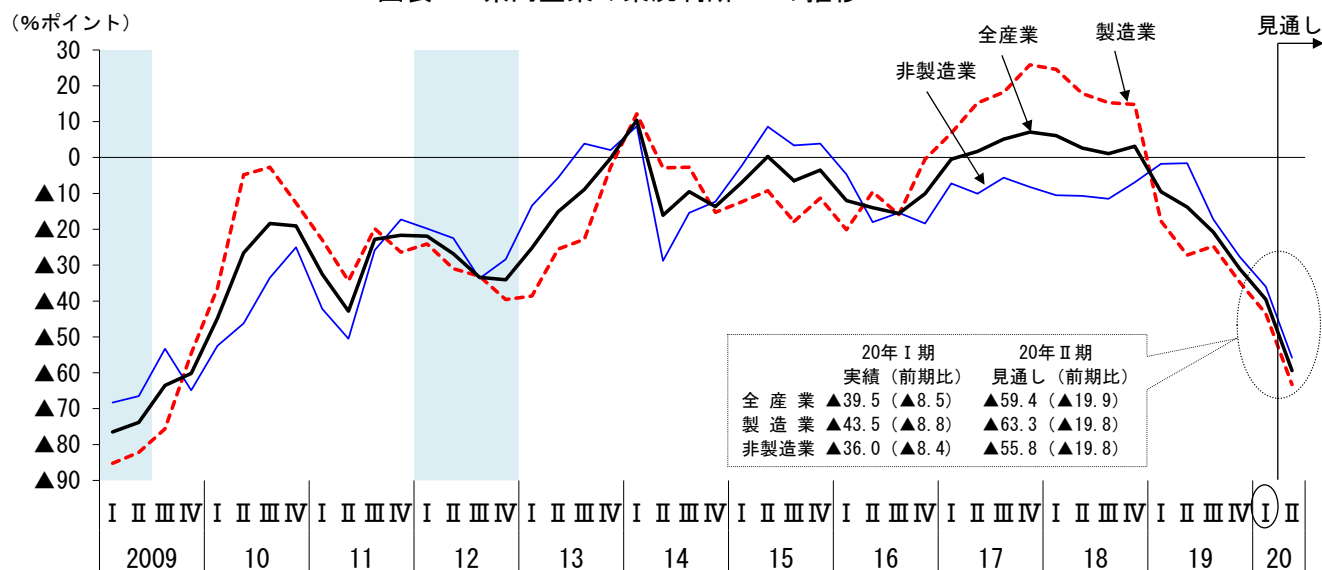
## ○ 業況判断DIは、5期連続で悪化

- ・ 2020年1~3月期の県内企業の業況判断DI（業況が「良い」と答えた企業割合－「悪い」と答えた企業割合、%ポイント）は、全産業が△39.5と5期連続で悪化し、東日本大震災（11年4~6月期：△42.8）以来の水準まで悪化した（図表1）。前回調査（19年10~12月期）では、今期は△25.7へと改善する見通しだったが、新型コロナウイルス（以下、新型コロナという）の感染拡大の影響により見通しを大幅に下回った。
- ・ 業種別では、製造業は△43.5と前期に比べ8.8ポイント、非製造業も△36.0と同8.4ポイント、いずれも大幅に悪化した。
- ・ 20年4~6月期は、全産業が△59.4と今期に比べ19.9ポイント悪化する見通し。このうち製造業は△63.3と同19.8ポイント悪化、非製造業は△55.8と同19.8ポイント悪化する見通し。
- ・ 20年1~3月期の売上高、経常利益は、製造業、非製造業ともに前年を下回り、見通しはさらに減少する見通し（図表2、3）。
- ・ 雇用の過不足状況を示す雇用水準DIは、非製造業では不足感はあるが、製造業では2014年7~9月期以来となる過剰超へ転じた。設備の過不足状況を示す設備水準DIは、製造業が4期連続で過剰超となった一方、非製造業も不足感が薄らいでいる（図表4、5）。

## ○ 今回調査のポイント

- ・ 20年1~3月期の製造業は、米中貿易摩擦に伴う中国経済の減速に加え、新型コロナの感染拡大による海外工場の操業の停止や遅れから幅広い業種で生産活動に支障が生じた。また、非製造業は、消費税増税や10月の台風19号、暖冬の影響などにより景況感が悪化する中、新型コロナの感染拡大に伴う外出自粛の影響を受け、飲食業や宿泊業など観光関連を中心に景況感が急激に悪化した。
- ・ 20年4~6月期の製造業は、新型コロナの感染拡大による操業停止や物流面の停滞が予想され、景況感はさらに悪化する見通し。非製造業でも、新型コロナの感染拡大による不要不急の外出自粛が続くとみられ、観光関連を中心に景況感のさらなる悪化が予想される。
- ・ 今後、国の「緊急事態宣言」による長野県内企業への影響についても注視していく必要がある。

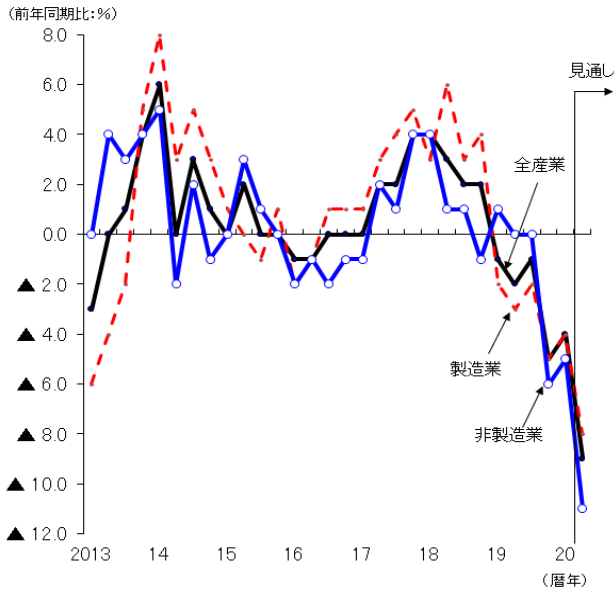
図表1 県内企業の業況判断DIの推移



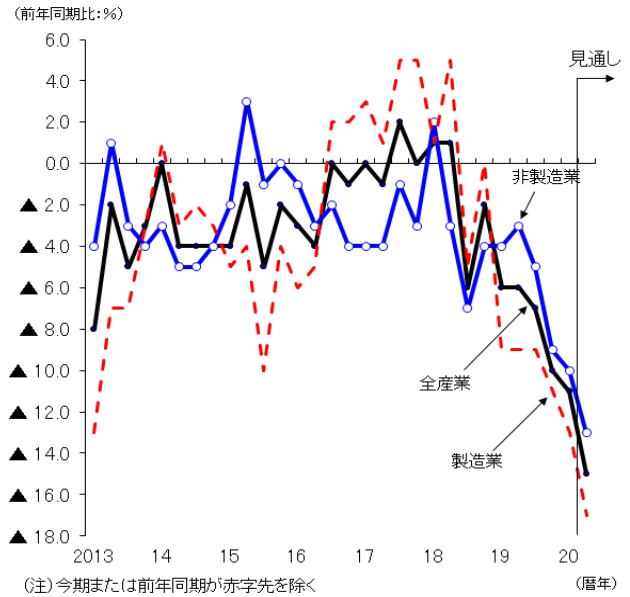
(資料)長野経済研究所「四半期別業況アンケート調査」(注)シャド一部分は長野県の景気後退期

(期/暦年)

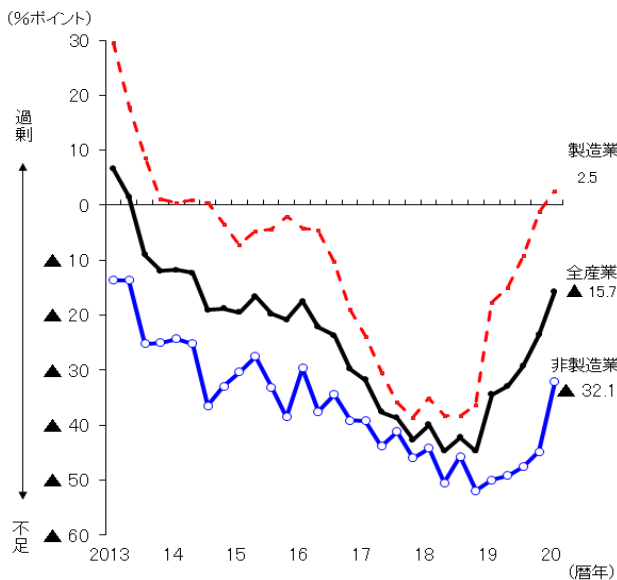
図表2 売上高の推移（前年同期比）



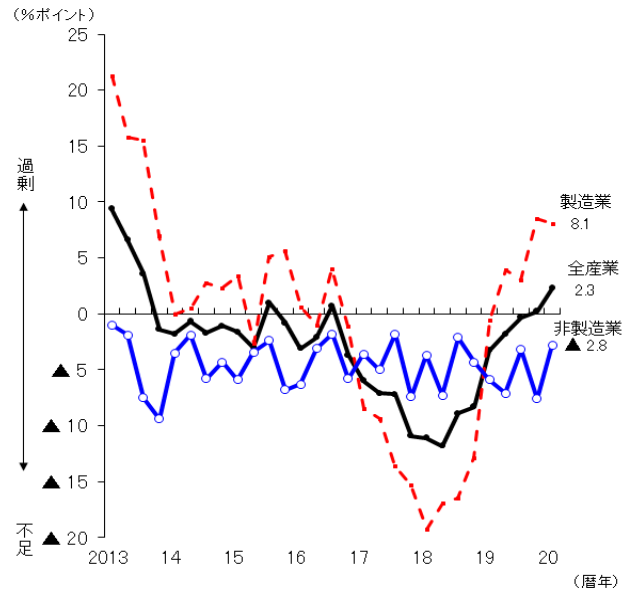
図表3 経常利益の推移（前年同期比）



図表4 雇用水準 DI の推移



図表5 設備水準 DI の推移



■調査概要

企業経営者を対象にした調査で、業況、売上高、経常利益、受注、生産、価格など、企業活動に関する現状と見通しを数字で表したものである。具体的には、個々の項目毎に、良い、好転（増加等）と回答した企業から、悪い、悪化（減少等）と回答した企業割合の差を算出するほか、当期の水準を前年同期比により比較、検討し、その動きから景気全体の趨勢を判断する。

調査対象期・実施時期・為替レート

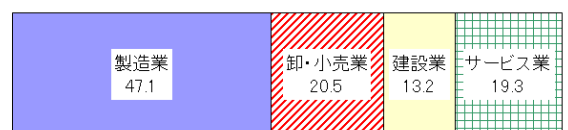
対象期 2020年1～3月期、見通し20年4～6月期  
 実施時期 20年3月中旬～4月上旬調査  
 平均為替レート 20年1～3月：108.85円/\$（10～12月：108.72円/\$）

■対象 県内企業・事業所 665社、右表参照

業種別対象先数及び回答先数

		製造	卸・小売	建設	サービス	合計
合計	対象先数	281	156	80	148	665
	回答先数	161	70	45	66	342
回答率 (%)		57.3	44.9	56.3	44.6	51.4

回答企業の業種別構成比（単位：%）



<各DIの推移>

□ 業況判断DI

(回答社数構成比「良い」-「悪い」・%ポイント)

業種	2019年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	2020年 1~3月	4~6月
全産業	▲9.5	▲13.8	▲20.8	▲31.0	▲39.5 (▲25.7)	▲59.4
製造業	▲17.7	▲27.2	▲24.7	▲34.7	▲43.5 (▲23.3)	▲63.3
非製造業	▲1.8	▲1.6	▲17.3	▲27.6	▲36.0 (▲28.1)	▲55.8

※括弧内は前回見直し

□ 雇用水準判断DI

(回答社数構成比「過剰」-「不足」・%ポイント)

業種	2019年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	2020年 1~3月
全産業	▲34.4	▲32.9	▲29.3	▲23.6	▲15.7
製造業	▲17.7	▲15.0	▲9.1	▲1.1	2.5
非製造業	▲50.0	▲49.2	▲47.6	▲44.8	▲32.1

□ 設備水準判断DI

(回答社数構成比「過剰」-「不足」・%ポイント)

業種	2019年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	2020年 1~3月
全産業	▲3.3	▲1.8	▲0.3	0.2	2.3
製造業	▲0.6	3.9	3.0	8.5	8.1
非製造業	▲5.9	▲7.1	▲3.2	▲7.6	▲2.8

□ 製造業の想定為替レート（平均）

	2019年度	2020年度
ドル円	108.16円 (109.00円)	107.08円 (108.00円)
ユーロ円	120.93円 (120.00円)	118.10円 (119.00円)

※下段の括弧内は中央値

以上